

麺



佐野ブランドキャラクター
さのまる ©佐野市



足利市イメージキャラクター
たかうじ君

そば・うどん・
ポテト入り焼きそば・
ラーメン・いもフライ

めんめん

足利佐野街道

ASHIKAGA SANO MENMEN KAIDO



栃木県マスコットキャラクター
とちまるくん



おいしいもの
 足利佐野 街
 チョイス



足利 佐野 エリア



大根そば



daikon
soba

大根そば

「大根そば」は佐野市周辺の郷土料理で足利市でもよく見られるメニュー。千切りしたシャキシャキの生の大根をそばにのせたり、茹でてそばにのせたり、混ぜて食べたりする。さっぱりとして食べやすく、おいしいと評判。

佐野らーめん



sano
ra-men

佐野らーめんのルーツ

佐野らーめんの特徴である「青竹打ち」は、中国の広東省から来たコックにより大正5年頃伝えられたと言われています。当時ラーメンは「支那そば」と呼ばれており、佐野の飲食店で働いていたコックが青竹打ちのラーメンを作っていました。

佐野らーめんのもう一つの特徴は、醤油ベースの澄んだスープ。佐野市内にある出流原弁天池の湧き水は、日本の名水百選に選ばれるほど佐野は水が良いところで、この水によりスープの旨みが引き出されています。

また、佐野近辺では昔から米と麦の二毛作により小麦の生産がとて盛んで、良質の小麦から作った青竹打ちの麺と澄んだスープがからみあい、佐野らーめん独特の味とコクを引き出しています。

ポテト入り焼きそば



足利人のソウルフード

ポテト入り焼きそばのルーツ

大正初期、栃木県南部ではジャガイモがたくさん採れ、よく食べられていました。とくに長ネギとジャガイモの醤油炒めが子供達のおやつとして食べられていましたが、地元ソース会社が醤油の代わりにソースをかけて子供達に食べさせたところ好評で、以降ソースで食べることが定着しました。戦後、ジャガイモに麺が入るようになり「ポテト入り焼きそば」が誕生しました。



いもフライ



駄菓子屋で子どものおやつとして誕生



耳うどん



佐野市仙波町のお正月料理



栃木 エリア



出流山満願寺 (いづるさんまんがんじ)

出流そば



iduru
soba

出流そば

石灰の山からしみ出る名水は地名の元となり、「女性の嫁入り条件はそば打ち」と言われる程、そばへの思い入れが深いところでもあります。この地区の坂東第17番札所出流山満願寺の参道沿いにあるそば店や民宿には、お参りとそばを目当てに、県内はもとより近県からも多くの観光客が訪れます。

栃木
おすすめ
観光
スポット



1250年ほど前、日光山を開いた勝道上人によって開かれ、本尊の千手観音菩薩は弘法大師の作と言われている。奥の院に祀られている十一面観音菩薩は子授け、安産の御利益があるということで、信仰を集めている。奥の院近くの大悲の滝では滝修行をする人が絶えない。

■ 栃木市出流町288 TEL 0282-31-1717
 ¥ 奥の院入山料大人1名300円 子供1名200円 (10名以上の場合、要相談)
 HP <https://www.idurusan.com>

足利観光スポット

あしかがフラワーパーク



四季折々の花が咲き乱れる花の園。なかでも4月下旬に見頃を迎える大藤棚は「世界一美しい藤」と言われるほど見事。日本三大イルミネーション「光の花の庭」も必見。

■ 足利市迫間町607
TEL 0284-91-4939
🕒 9:00~18:00 (季節により変更あり。要確認)
🗓️ 2月第3水・木曜、12月31日
HP <https://www.ashikaga.co.jp>



足利花火大会

(あしかがはなびたいかい)

足利花火大会は1903(明治36)年に開始された伝統ある大会。毎年約50万人の観覧者が集い、多くの人に親しまれています。日本名玉大玉花火など約25000発の花火が打ち上げられ、フィナーレの「大ナイヤガラ」と「ワイドスターマイン」の競演は圧巻。

開催 8月第一土曜日
19:00より打ち上げ開始



史跡足利学校

(しせきあしかががっこう)



日本最古の総合大学、学校門や孔子廟などは江戸時代の建物で、方丈や書院などが復元され公開されている。国指定史跡。平成27年に日本遺産に認定。

■ 足利市昌平町2338
TEL 0284-41-2655
🕒 9:00~16:30 (10月~3月は16:00まで)
🗓️ 第3月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~31日
¥ 一般420円、高校生220円、中学生以下無料
HP <https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/site/ashikagagakko/>



足利織姫神社

(あしかがおりひめじんじや)



産業振興と縁結びの神。足利市街が一望できる場所にあり、そこから見る夜景も美しい。2014年度「恋人の聖地」に認定され、【愛の鐘】を設置した。

■ 足利市西宮町3889
TEL 0284-22-0313 (足利織姫神社奉賛会)
HP <https://www.orihimejinjya.com>

鏝阿寺

(ばんなじ)



鎌倉時代 建久7(1197)年に足利義兼により建立された真言宗大日派の本山。地元では「大日さま」と呼ばれ、古くから親しまれている。本堂は平成25年に国宝に指定された。

■ 足利市家富町2220
TEL 0284-41-2627
HP <http://www.ashikaga-bannaji.org>

佐野 おすすめ 観光 スポット

a 出流原弁天池 (いずるはらべんてんいけ)



古生層石灰岩の割れ目から清水がこんこんと湧き出す日本名水百選の一つ。そばに「磯山弁財天」が建立されている。三層桜舞台造りの弁天堂が特徴。

■ 佐野市出流原町1117
TEL 0283-25-0228
出流原弁財天観光協会 (ホテル一乃館)
HP <https://sano-kankokk.jp/guide/688/>



b 佐野プレミアム・アウトレット (さのぶれみあむ・あうとれっと)



佐野藤岡インターから約800mに立地するアウトレット・ショッピングセンター。アメリカ東海岸の街並みをイメージした建物には、約180ものブランドショップや飲食店が入る。

■ 佐野市越名町2058
TEL 0283-20-5800
営 10:00~20:00 (休) 2月第3木曜日 (年1回)
HP <https://www.premiumoutlets.co.jp/sano>

c 佐野厄よけ大師 (さのやくよけだいし)



佐野市の中心地に位置し、正式名を春日岡山転法輪院惣宗官寺といい、関東三大師の一つに数えられる。元三慈恵大師を安置し厄よけの祈願を行い、正月の大祭には約100万人の人で賑わう。

■ 佐野市金井上町2233
TEL 0283-22-5229 (佐野厄よけ大師)
HP <https://sanoyakuyokedaishi.or.jp>

d 唐沢山城跡 (からさわやまじょうあと)



続・日本百名城、関東七名城のひとつで、国指定史跡の山城跡。「むかで退治」の伝説や天慶の乱で平将門を滅ぼした藤原秀郷公を偲ばせる城跡。秀郷公を祀った唐澤山神社がある本丸跡や南城跡の石垣の一部は当時の姿を残している。

■ 佐野市富士町1409
TEL 0283-24-1138 (唐澤山神社)
HP <http://karasawayama.com>

e 万葉自然公園 (まんようしぜんこうえん)



みかもやま
三龜山の北斜面の中腹に150万株のカタクリが群生しており、3月中旬から4月上旬にかけて、辺り一面に紫色の花がいつせいに咲きそろういます。

■ 佐野市町谷町112-1
TEL 0283-21-1187 (管理センター ※イベント期間中のみ)
HP <http://sano-kankokk.jp/information/1513/>